



中央に置かれていた狸の神像がなくなった八股榎大明神  
 25日午後7時ごろ、松山市堀之内

25日昼ごろ、「八股榎（やつまたえのき）大明神」として親しまれる松山市堀之内のほこの関係者から「狸（たぬき）の神像（50万円相当）が盗まれた」と被害の届け出があった。松山東署が窃盗容疑事件とみて捜査している。

約50年間、ほこの世話をしている同市安城寺町の田中喜子さん（89）らによると、像は陶器製で高さ約30センチ、重さ約2キ。約40年前から他の小さな像とともに

## おたぬきさん帰ってきて

### 松山のほこら 神像 窃盗被害か

ほこの中央にまつられていた。女性信者が24日午後6時ごろ確認しており、25日午前9時ごろ、なくなっているのに気づき、田中さんらが届け出た。

松山市役所前の一角のエノキの木には、江戸時代に神通力を持つ「お袖狸」がすんでいたという伝承があり、神木としてまつられている。田中さんは「残念だが、おたぬきさんのことだから何日かすれば帰ってくると信じている」と話した。